

会 議 記 録				
会 議 の 名 称		広報広聴会議		会議場所 第3委員会室 担当職員 鈴木 智
日 時		平成30年8月7日(火曜日)		開 議 午前 10時 15 分 閉 議 午前 10時 43 分
出席委員		◎小川 ○三上(広報部会長) ○平本(広聴部会長) 富谷 奥村 並河 山本 石野 (欠席:齊藤)		
事務局出席者		片岡事務局長、山内次長、船越副課長、鈴木議事調査係長、三宅主事		
傍聴	可	市民0名	報道関係者0名	議員0名(-)

会 議 の 概 要

10 : 15

[小川委員長 開議]

1 中学生議会について

[平本副委員長 説明]

- ・さきほどの広聴部会において、当日のスケジュールは案1で実施することを決定した。
- ・意見交換会も実施することとしており、広報部会で特集ページを考えていただきたい。また、意見交換会は3つに分けて実施することも考えたが、1つで全員協議会室において実施することとする。
- ・決議案については、事務局と中学広聴会議との間で調整しており、現在保留としている。
- ・中学生へのアンケートは当日配付し、後日回収することとする。
- ・キャッチフレーズは「私たちの描く亀岡 未来に向けて」としている。
- ・中学生の送迎については、スクールバスを運行するが、詳細は調整中である。また、バス1台につき広報広聴会議委員が2人添乗することとする。

<三上副委員長>

午後5時すぎに学校到着予定となっているが、学校との調整はできているのか。

<事務局次長>

中学校長会議と調整している。目安としては午後5時までに学校に戻れるようにしている。

<奥村委員>

意見交換会で発言する議員を事前に決めておいてはどうか。また、質問内容は事前に中学校に知らせておいてはどうか。

<平本副委員長>

高校生議会の時はどのようにしていたのか。

<事務局次長>

高校生議会の時は、高校生が議会に参加してどのように感じたかの感想を聞くこととして、事前に質問内容は知らせてはいなかった。

<三上副委員長>

決議案について、中学校側の考え方はどうか。

<事務局次長>

子ども議会、高校生議会では、振り返りの際に、参加する子どもたちの意見を決議案に入れるべきとの意見を議員からいただいていた。このため、7月11日の中学校長会議において、このことを伝えたが、中学生が主体となって決議案を作成するのは難しいとの意見であった。9月に質問内容が出てきた際に、再度考えてはどうかとのことであったので、今後調整していきたい。

<三上副委員長>

中学生が事前に集まって考えることは難しいが、これまでのように、事務局が用意したものを中学生が読みあげるのはいかがでしょうかと考える。また、質問の締切日を9月7日とされているが、指導する教師から期間が短いとの意見がある。よりよい質問内容にするには考慮すべきである。この締切日は確定であるのか。

<事務局長>

夏休み期間を利用して質問を作成してもらおうと考えていたものであり、多少遅れてもよいものと考えている。質問は事務局で整理し、10月に執行部に送付する。

<平本副委員長>

質問の締切日について、学校の声をもう少し聞きたい。

<三上副委員長>

学校の代表として質問を作成するのであれば、中学生議会に参加する生徒個人ではなく、例えば学年全体が集まって考える必要が出てくる。時間がないので大変だというのではなく、やるからにはいいものにしたいという意味である。決議案については、生徒の思いを拾って作成できればよいものができる。一言でもよいので、質問通告とあわせ、中学生の思いを聞きたいと考えている。

<事務局長>

質問については、9月7日の締切日を過ぎても対応していきたい。

<三上副委員長>

学校において質問を練り上げてもらうのであれば、少々遅れてもよいようにすべきである。また、質問とあわせて中学生議員の意気込みを聞いておき、決議案作成に生かすようにしておけばよい。

<小川委員長>

中学校長会議でそのことを伝えていただきたい。中学生や議員にとってもよい取り組みになるようにしていきたい。

<平本副委員長>

中学生議会に関して、議会だよりの編集について配慮いただきたい。

<三上副委員長>

中学生議会については、1月31日発行の議会だよりへの掲載となるが、特集ページとして考えていきたい。

2 その他

(なし)

散会 10:43